

01 子どものアイデアを生かす 教室掲示の工夫は？

担任経験3年目・女性



今、工夫したいと思っているのが教室の環境整備です。ベテラン先生の教室には、子どもたちの作品が学習成果として掲示されていて、教室に入ると生き生き活動している風景が目に見え、ポイントを教えてください。

A 教室掲示には、
子どものアイデアを積極的に取り入れよう！

学校生活の中心である教室環境が、子どもの成長に及ぼす影響が大きいことを踏まえ、教室のどの位置にどんな掲示物があればよいのか、子どものアイデアを積極的に取り入れながら、意図的・計画的に教室環境を整えましょう。

戦略の構造

教室掲示の意図

- 学級目標、学習ルールや当番・係など共有しておくべきことの視覚化
- 子どもの作品などの学習成果、子どもからのメッセージなど情報の共有化

子どもたちの思い

みんなで大切にすることは、分かりやすく掲示してあると便利。



自分たちの作品が掲示されていると、自分たち自身が大切にされているようだ。



自分たちで学級づくりをしていく一つの方法として、皆に伝えたいことを掲示していきたい。



担任の意図

子どもたちと一緒に決めた目標やルール等の掲示によって、話さなくてもすぐに確認でき、子どもに責任の自覚を促せる。



学習成果を見える形で確認し、担任のコメントなどを通して、評価も全体で共有できる。



学級づくりへの子どもの参画意識を向上できる。



自分たちの目指す学級像が分かる教室掲示

教室掲示の工夫のポイント

200日以上過ごす教室環境の影響は多大

「担任は最大の教育環境」と言われる。それは特に長い時間を共にする担任の言動が子どもの成長に及ぼす影響が大きいことを表している。教室環境は、その次に匹敵するほど、子どもの成長に大きく影響する。守るべきことが掲示されていると、それは自然に心に刷り込まれていく。作品に子どものよさや可能性を見いだすコメントが記されていると、担任の子ども一人ひとりを大切に思う心が通じる。掲示物が整然と並んでいれば、子どもの意識も整然とする。

子どものアイデアを生かす

中学年ともなれば、低学年から積み上げてきた生活経験から、教室掲示について自分たちの意見をもてるようになる。この実態を生かして、教室掲示に子どものアイデアを積極的に生かしていく。自分たちが教室環境づくりに参画している、つまり学級づくりに参画しているという意識をもたせることができる。同時に、これが定番と思っていた担任の考えを現代化する掲示物や掲示方法が生まれる。子どもたちのセンス、力量を侮ってはいけない。

構造化された教室掲示の工夫

